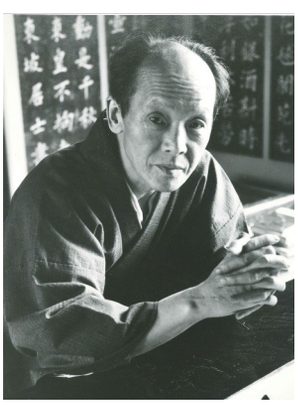
企画展

生誕120年

図書館長 石井富之助と文学者たち



小田原市立図書館館長室にて（昭和44年）













上段左から尾崎一雄、尾崎士郎、川崎長太郎　下段左から北原武夫、野上弥生子、福田正夫

2026

10.24(土)≫12.20(日)

小田原文学館

〒250-0013　神奈川県小田原市南町 2-3-4

開館時間　10月31日まで　10:00～17:00
　　11月 1日から　10:00～16:30
　　（いずれも入館は閉館の30分前まで）
休 館 日　月曜日（休日の場合は翌平日）
入 館 料　大人250円、小中学生100円
　　（団体/障害者手帳をお持ちの方割引有）
問合せ　小田原市立中央図書館　TEL0465-49-7800

画像の出典（尾崎士郎・野上弥生子）：国立国会図書館「近代日本人の肖像」
（https://www.ndl.go.jp/portrait/）

企画展

生誕120年

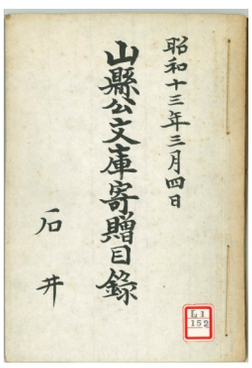
図書館長 石井富之助と文学者たち

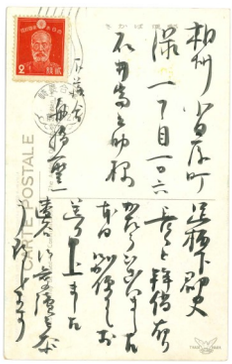
明治39年（1906）５月に小田原で生まれ、昭和９年（1934）から同44年まで、35年にわたって図書館に勤めた石井富之助元館長は、小田原の図書館の体制づくりと発展に大きく貢献した人物です。

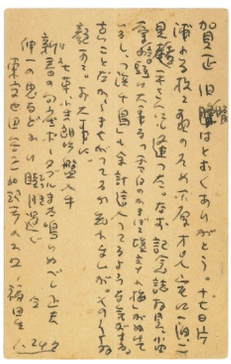
石井元館長は、生前、図書館業務に関する文献や膨大な数の郷土資料を収集しました。それらの中には、小田原の郷土史に関する資料のほか、尾崎一雄、川崎長太郎、北原武夫など、交流のあった文学者に関する記事や、彼らから送られた書簡、著書などが多数含まれます。これらの多様な資料は小田原市立中央図書館に寄贈され、「特別集書　青蛙荘（せいあそう）文庫」として現在も大切に保存されています。

この青蛙荘文庫の資料を含めた中央図書館所蔵資料などから、文学者との交流の様子を中心に石井元館長の足跡をご紹介します。“小田原の名物館長”の貴重な資料の数々をぜひご覧ください。

これらの方々は、それぞれ専門家でありますから、お話をしているだけで、わたくしの勉強になります。いわゆる聞き学問というものですが、それがまた、図書の選択などに非常に役立つたもので、わたくしはそういう機会に恵まれたことを大変有難く思つております。――ラジオ原稿「図書館一代」より







写真左　山縣有朋の没後に蔵書が寄贈された際、石井が作成した寄贈資料目録。
写真中央　舟橋聖一が「北村透谷」執筆時に資料を借りた際に石井に送った葉書。
写真右　福田正夫が作詞した「小田原音頭」について石井とやり取りした際の葉書。

題字：石井富之助の筆跡から

会期中の関連イベント

［図書館総合歴史講座　文学散歩］
石井富之助元図書館長や、彼と交流のあった川崎長太郎、北原武夫などの文学者ゆかりの場所を歩きます。

日時　12月12日（土）9:00～12:00
集合　小田原駅東口金次郎像前
解散　小田原文学館
講師　小田原ガイド協会
定員　20名（要事前申込・先着順）

▲申込フォーム
11/10 9:00～受付

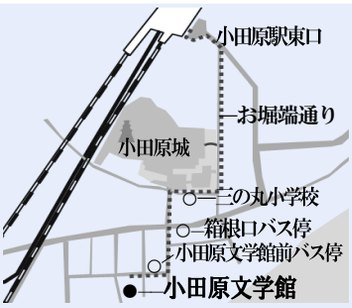
＊申し込みは11月10日（火）9:00から、小田原市立中央図書館へ直接、電話（☎0465-49-7800）または申込フォームで（12月10日17:00まで）



国登録有形文化財・歴史的風致維持形成建造物
旧田中光顕別邸

小田原文学館

〒250－0013　神奈川県小田原市南町 2-3-4



アクセス
・小田原駅東口から徒歩20分
・小田原駅東口から箱根方面行バス
　H/T/J/Z/U線「箱根口」下車徒歩５分
・小田原宿観光回遊バス「うめまる号」
　「7.小田原文学館前」下車徒歩1分
　（土日祝日のみ運行）
・車で国道1号線「箱根口交差点」から
　路地に入り220m右折後直進100m
　（駐車場7台・無料）